

## 造園

建設局  
百年の杜推進部  
公園管理課

### 齊藤 友記

山梨県富士吉田市出身  
令和2年度採用



都市公園や街路樹の整備・維持管理から、みどりに関する計画策定、設計・積算、工事監督などを行います。また、新たに建物が建築される際の緑化指導や都市緑地の保全などに関する業務に携わり、まちの緑化の中心的な役割を担います。そのほかに、経済局で林業振興等に関する業務に従事することもあります。まさに、「杜の都・仙台」の基盤を支える職種です。



### 「杜の都」のみどりあるまちづくり。

公園や街路樹など、「身近な人の心を豊かにするみどり」の整備や維持管理に携わることができる場所に造園職の魅力を感じたという齊藤さんは、主に市内の公園施設の改修に関する業務や、公園の利活用方法の検討を担当しています。「造園職は、樹木の剪定や刈り込みで汗を流すこともあれば、集中してデスクワークに勤しむこともあり、外業と内業のバランス



がいいなと感じています。現在の公園管理課では、主に榴岡公園における今後の管理運営を考えるため、地域の方との意見交換を実施したり、勾当台公園の再整備に向けて市民を

交えたワークショップを開催したりしています。その中で、「市民の皆さんとみどりのまちづくりについて語り合えたことは特にいい経験となりました」。公園には無限の使い方があり、市民から寄せられるさまざまなアイデアや要望を取りまとめていくのは難しく、時に悩むこともあるという齊藤さん。そのようなときは一人で抱え込まず、身近な先輩に相談することで自分の考えを整理するようにしているといいます。

造園職は、「みどりあるまちづくり」には欠かせない職種であり、「杜の都・仙台」の象徴でもあります。旅行が好きでさまざまな土地を見てきた齊藤さんが、「仙台の街路樹の美しさは日本一」と自負する背景には、みどりを思う職員たちの熱意と努力が垣間見えます。「他都市では行政と民間が協働で公園の管理運営を行い、新たな公園サービスを行う事例も増えてきました。仙台市でもそうした事例を参考に、誰もが憩い、快適に利用できる公園づくりをしていきたいですね。そのためには、私たち公務員が一人の市民としてまちづくりに積極的に参加することも大事になってくると考えます」。



## Private

退勤後や休日は、テニススクールで友人と一緒に汗を流しています。最近では大会に出場する機会も増えてきたので、選手としても今後さらに力をつけていきたいと思っています。

## One day Schedule

- 8:30 出勤
- 9:00 メールチェック・事務作業
- 10:00 建設コンサルタント業者とのWeb打ち合わせ
- 12:00 昼休憩
- 13:00 昼礼(週1回月曜日)
- 14:00 地域の方との意見交換
- 16:00 会議の資料作成・修正作業
- 17:15 メールチェック・退勤